# 南国市を語る

## 市内の高校生にきく

**南国市を語る**

市内にあります高専、農高、東工高の三つの学校へ、市外から勉学にきています学生をあつめて、わたしたちの住む「南国市」の印象や将来のことなどについて素直に語ってもらいました。

学生たちの話では新しい都市づくりに関心があつまっているようでした。

### 農工一体の生産都市へ

#### まず都市計画の確立

▼空気がよく、静かな環境は勉学のためには最適で、いわゆる勉強の虫をつくるにはよい環境です。

しかし、文化的公共施設や、書店、スポーツ店、文具店などの専門店が少なく、かつ小さいそのため消費者は高知市で用を足すことになり勝ちです。環境のよい反面、誘惑や刺激の少ないことなくもの足りない感じがします。

▼道路は狭く、やたらに曲っていますが、バイパスを通じても現在のままではいけないし、バイパスとは立体交差にすべきです。

南国バイパスによって、高知市との距離的なハンディー・ギャップは解消されます。

〃空の玄関〃高知空港は観光開発、輸送面からみても、将来に備えて拡充すべきです。

#### 広い土地を広く活かせ

▼田の区画が小さく、せっかく広い平野部にありながら、その広さを有効に活かした農業経営でないので、このような農業構造を根本的に改め、経営規模（共業化、集約化●耕地区画（基盤整備）を拡大して、大型機械の導入を容易にし、近代化と生産性の向上をはかるべきです。

▼まだまだ不十分な水稲、野菜園芸などの指導を強化し、とくにビニール・ハウスの災害防止の対策、冬期暖房の不合理な面の改善など、打算的な見地から農民を指導し、育成をする必要があります。また集荷選別所を大型近代化し、

〃陸の玄関〃国道三十二号線を有する恵れた地理的立地条件をふるに生かした大量輸送など輸送体系を考えるべきです。

しかも、市の山間地帯は樹園地や山地放牧など、まだまだ活用しなければならない適地が多く、開発が待たれています。

▼将来南国市をどのような方向に発展させるかは、市政のあり方によって大きく左右されますが、最近、とくに田園地帯へ住宅の進出がはげしくなっていますが、農業の近代化施策をこんごりむつかしくします。はやく都市（農村）計画を実施すべきです。

用途別地域を設定し、飽和状態にある高知市にかわって、工業や住宅の建設を可能なものにすれば、市の体質改善は急速にすすむものと考えます。

▼立地条件からいっても、豊富な木材、石灰などの資源を利した加工工業、農機具などの地場産業の育成とともに、工業誘致をすすめ、農工を両立させた生産都市を柱に、また、高知市のベットタウンとしての消費都市をかねそなえた都市づくりをなすべきでないでしょうか、市の中心地、後免町周辺の雑然としたむかしながらの姿は、町としての発展を阻害しています。将来のため農村計画、工業計画とを併せて、はやく現状から脱皮するための都市計画を実施し、消費人口の増加をはかるなど、高知市に次ぐ衛星都市としての町づくりが急そがれます。

東大などの大学紛争や就職などについて、どのように考え、どうにみているのか参考のためたずねてみました。

#### 過激すぎる大学紛争

▼学生のいい分に同情はできますが、現状となれば過激すぎます、これでは破壊であって建設とはいえません、若い情熱を発散させたスポーツまがいの暴動であり、教師も教師の権威を忘れています。

▼学生運動の意義を本当に意識しての行動とはいえません、自分の主義、主張を述べることは大切ですが、他との協調を忘れては、単なる付和雷同の衆となります。

▼学生生活の楽観的な甘さが、気ままにし、遅れればそれだけ差のつくことを忘れさせています。学生としての時間を大切にし、働かねばならない学生や家庭のものにとって、留年は迷惑なことです。しかし、その原因をつきとめなければ、いつまでも解決しないし、反感は消えないでしょう。

#### 高専は県外へ農家の嫁に

▼就職は県外の大企業に行くものが多く、とくに高専では県内にこれといった大企業がないため県内に残るものはないようです。なかには工業を出て、農業を心ざすものもいます。

誰れにでもできない農業を目指したいという農高生、ゆくゆくは海外へ視察研究にゆき、知識を広めたいと情熱を燃やす出席者もいました。また、明春卒業の女子農高生の六割は農家への縁談がまとまっているということで、農家の嫁問題に、明るさを見出すことができました。出席の二人は二年ほど就職し、人につかえ、農家の主婦として人に接するときの体験にしたいと農業に希望をもっていました。

出席者

高知工業高等専門学校
- 5年 小松裕二
- 5年 武市雅文
- 5年 山本哲久

高知農業高等学校
- 3年 山村明伸
- 3年 野坂幹生
- 3年 小松さゆき
- 3年 西田美枝

高知東工業高等学校
- 3年 宮田精郎
- 3年 藤本隆
- 3年 宮村理生



## トピックス

**話題**

★ 12月3日、市民体育館において、中央地区広報研究会が開らかれました。

当日は香美郡から吾川郡までの12市町村から30人あまり集り、午前中は県下広報の現況や県開発課真島主監の「これからの高知県」午後は、高知新聞藤崎政治部長を講師に、「記事のとり方、あつかい方」など熱心に意見の交換が行なわれました。

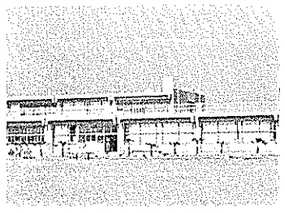
★ 12月から2月までの短期書道講座が中央公民館において開らかれています。

この講座は一般市民を対象にしたもので、毎週月曜の午後6時から7時30分まで、なかなかの好評。

### 校歌を募集

〔大湊小〕

前浜と南部の二校の統合により、昨年、前浜に開校しました大湊小学校の校歌を募集しています。

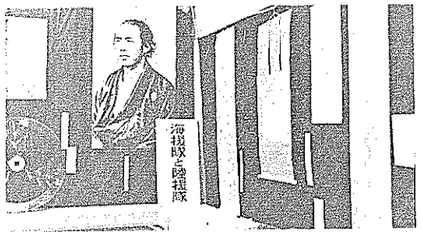


（写真は大湊小学校）

大湊の校名は、紀貫之の土佐日記にある大湊の地名によるもので、前に黒潮流れる土佐湾、うしろに遠く四国のやまなみを背景としたところから、歌詩は校名、黒潮、やまなみを用い、3節以内のものとし、健康で明るく生徒にも理解されるもの。

締め切りは1月15日、入選作には5千円をPTAから贈られます。

★ 明治百年記念事業の一つとして




12月6日から8日まで、市民体育館で「土佐維新展が開らかれました。

この維新展には、武市瑞山、坂本竜馬、中岡慎太郎らの手紙や書画、郷土出身の島村衛吉の和歌などが展示されました。

★ 日章農協、田村支所に新たに鉄筋コンクリート造りの米穀倉庫が12月17日に完成をみました。

★ 立田西町へ移転、新築工事がすすめられていました日章郵便局は12月15日に落成しました。

## おとしもの

南国署

10・11月中に届け出のあったひろいものはつぎのとおりです。

心あたりの方は、ご遠慮なく署で確めてください。地名は拾った場所です。

【10月】
- 26日 十市 自転車（女）
- 31日 大埇 本田カブ

【11月】
- 1日 里改田 現金
- 6日 東崎 自転車（男）
- 8日 大津 カブ
- 9日 上末松 自転車（女）
- 11日 大津駐在所前 自転車
- 11日 一区 腕時計（男）
- 16日 国鉄後免駅 現金
- 18日 東崎西部 現金
- 18日 大埇 財布（現金在中）
- 20日 下野田 腕時計
- 20日 廿枝 自転車（女）
- 25日 前浜 腕時計
- 26日 大津 現金
- 28日 篠原 自転車（男）
- 28日 中町四銀前 自転車（女）